No．48　　2025年 10月 26 日

三位一体後第十九主日礼拝(交換講壇)

説　教 『 だれも殺されないために 』

向　井　希　夫　師

司　会	市　川　真美恵 さん
奏　楽	自　動　演　奏　機
招　詞	詩　篇51編12～14節
主　の　祈	（ 5 6 4 ）
讃　詠	5　4　6
リ タ ニ ー	
祈　祷	
讃 美 歌	21 － 3　7　1
使 徒 信 条	
聖　書	マタイ福音書5章21～26節
説　教	（口語訳6頁、新共同訳 7頁）

『だれも殺されないために』

祈　祷	
讃 美 歌	21 － 4　1　3
献　金	()
感　謝	
報　告	
頌　栄	5　4　3
祝　祷	
後　奏	

次週の礼拝（永眠者記念礼拝）

説教『祝福を受ける者』

マルコによる福音書　10章２節～16節

招詞 Ⅱコリント書 3章6節、/ 交読詩編 詩62編

讃美歌　546、21－109、21－153、544

礼　拝　当　番

今週　26 日　司会　市 川 真 美 恵 さん

次週　2 日　司会　山 根　眞 三 さん

会 堂 清 掃 奉 仕　11 月 2 日（日）

コーヒータイム後行います。

本　日　の　集　会

★教　会　学　校　　午前9時45分

★コーヒータイム　　礼拝後～

密に注意し、それぞれの思いを語り合いましょう。

★本日の礼拝は分区交換講壇です。広島流川教会の向井牧師が来られ、吉丸先生は広島流川教会

§本日広島流川教会担当の炊き出しが行われます！場所はカトリック幟町教会（世界平和聖堂）。特に15時からセッティング、お菓子の袋詰めを行います。16時30分から配食です。ご協力いただける方は、お集まりください。車は、広島流川教会の園庭に駐車可能です。

§日本基督教団 廿日市教会　わかちあいバザー　13時30分～16時30分　日本基督教団廿日市教会　掘り出し物、おいしいもの、たのしい催しがいっぱい

●レコードコンサート　13時～15時30分

モーツァルト 交響曲第39番 変ホ長調 Kv543

ハイドン　　交響曲第88番 ト長調 Hov Ⅰ-88

ブラームス　交響曲第 3番 ヘ長調 作品90

今週の集会/スケジュール

§堀川惠子さんと山根師懇談協議会　10月28日(火)

❁めぐみ幼稚園拡大職員会議　10月29日(水)12:00

★宗教改革記念日　10月31日(金)祈りの中に覚えましょう。

次週以降のスケジュール等

★永眠者記念礼拝　11月2日(日)　10時30分～

★11月定例役員会　11月2日(日)会堂掃除後行います。

教務・教勢報告、会計報告、その他

役員の働きと健康を覚えてお祈り下さい。

★聖書を読む会　11月4日(火)10時30分～12時

創世記を読んでいます。聖書を読むのが楽しくなります。是非参加して下さい。お待ちしております。

先週の集会	男	女	計
教会学校	0	0	0
主日礼拝	0	4	4
聖書を読む会	2	3	5

◈今週の説教要旨（三位一体主後第十九主日礼拝）

『だれも殺されないために』マタイ書5章21～26節

今日の個所は、イエスさまが律法の完成についてのべる中、最初に取り上げたのが、「殺すな」です。「なぜ人を殺してはいけないのか」。聖書、世界の宗教、そして法律は「殺すな」と定めているのでしょう。しかし、「なぜ」と問われて、明確に答えられるでしょうか。ひとたび戦争が始まれば、「殺すな」が曖昧になり、多く殺した者が英雄となり、原爆のような大量殺戮兵器が開発使用され、罪のない命が殺されます。

聖書では、すべての人は、創世記1:27「神にかたどって創造された。」のです。人間一人一人の中に、神さまの「かたち」、神さまの意志が存在するのです。たとえ敵であったとしても。だからこそ、殺してはならないのです。

22節以下の言葉はどれも、相手の人間としての尊厳・存在を否定する言葉です。「具体的に、命を奪わなくても相手を殺している、決してゆるされることではない」と、イエスさまは厳しく言われるのです。

私たちは、考え方や立場に違いがあるときに、相手に反感を持ったり、社会から排除しようとします。

そんな私たちに、イエスさまは、23節以下で、たとえ相手が自分にに反感を持っている場合でも、まず、「仲直り」、「和解」を命じます。お互いの中に、神さまの「かたち」、「すがた」を認め合うことが最も大切だと伝えるのです。

隣人と仲直り、和解できない私たちのために、イエスさまは、ご自身の体を裂かれ、血を流されたのです。私のため心を開くことができない隣人のためにイエスさまは十字架へとかかられたのです。

今日の社会、世界は反感、憎悪に満ちあふれ、様々な対立があり、紛争や戦争が起こっています。そんな時代だからこそ、イエスさまの言葉を、それぞれの心に刻み、身近なところから、民族、国のレベルまで広げるために祈り働く者となりたいと思います。　（向 井　希 夫 牧師）